

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成 28年 11月 30日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

ま・ま・まさか

!?野菜がこんなに??

11月が終わり、今年も残すところわずかとなりました。朝晩もグッと冷え込み、お鍋がおいしく恋しい季節ですね。友人、家族などたくさんの人達と一緒に食べる鍋は心も体も温まりますよね～

しか～～し、そんなお鍋シーズンにも関わらず、まだ実現できていない方も多いのではないのでしょうか？

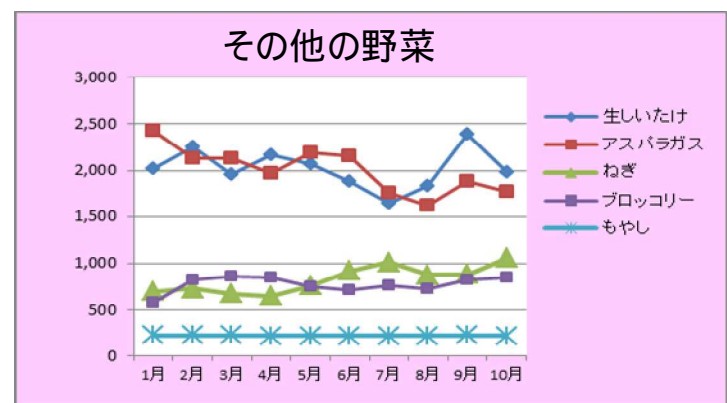
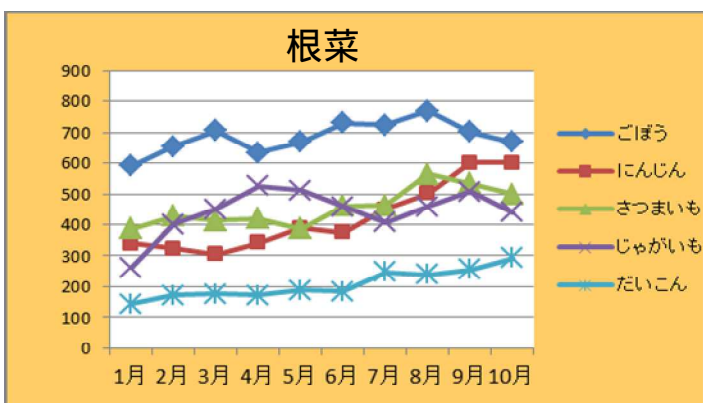
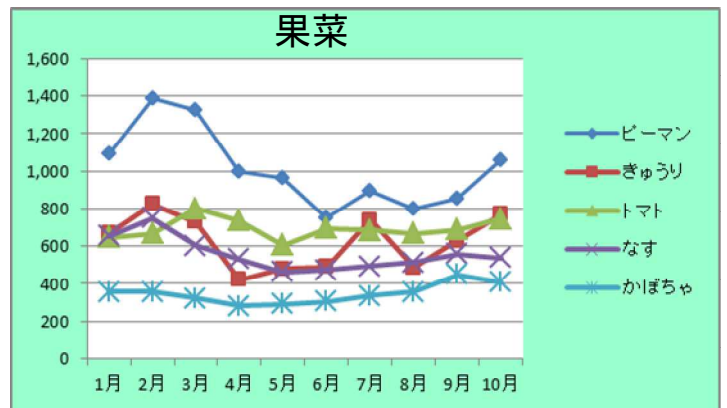
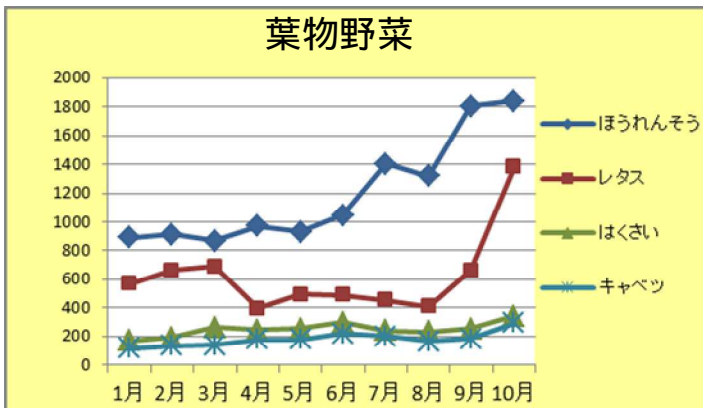
それもそのはず!!!今まで私たちの「身近」で「手ごろ」であった野菜の価格が高騰しています。原因は今夏の猛暑、台風、長雨など様々だと言われております。その結果、ある県では材料費高騰の余波で学校給食が数日間中止になるかもしれないという話も出たほどです。家庭のみならず、学校現場、外食産業など様々なところで切実に悩んでおられることと思います。

そこで、今回は私たちの生活において、なくてはならない『野菜』について調べてみます。

まずは、熊本市において今年に入ってから野菜の販売価格がどのように推移しているか確認してみましょう。

(全て1kgあたりの価格です。)

出典:小売物価統計調査

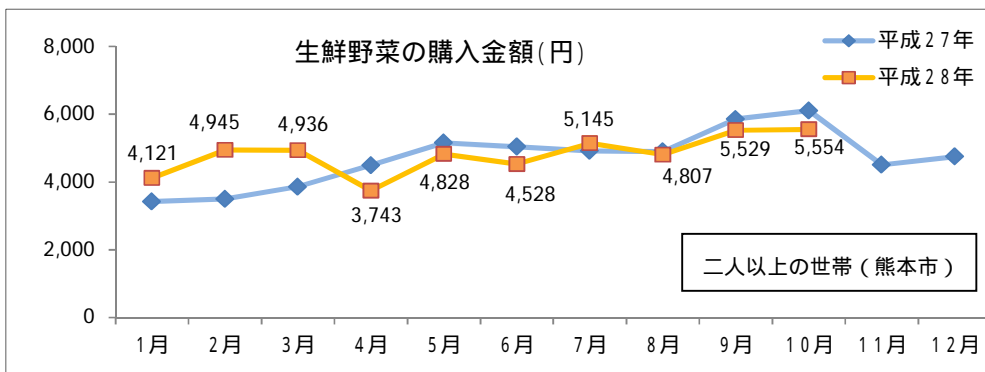


これをみると、「ほうれんそう」・「レタス」などの葉物野菜、「だいこん」・「にんじん」などの価格は高騰し、ものによっては2倍・3倍となっています。逆に「アスパラガス」の価格は低落し、「もやし」・「ブロッコリー」・「かぼちゃ」などのように概ね同水準で推移している野菜もあるようです。

ですので、一概に野菜全てが高騰しているわけではないということのようですね。



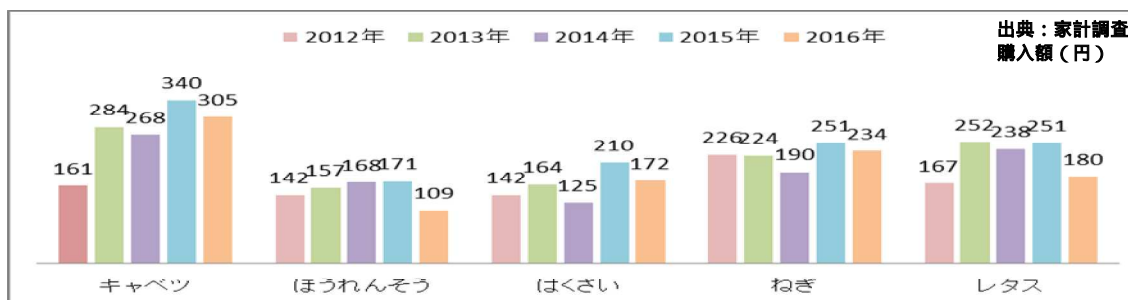
では、私たち消費者はこのような状況の中で、一体どれだけ野菜を購入しているのでしょうか？



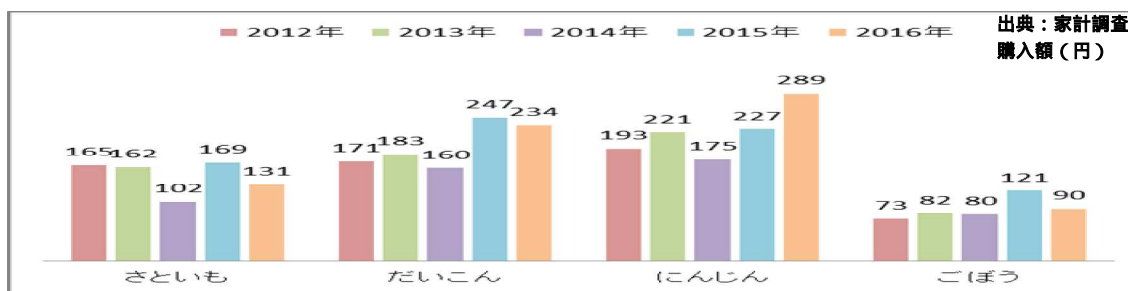
まずは左の図をご覧ください!!
熊本市における生鮮野菜購入額の推移を示したのですが、春から夏、秋と上昇していることがわかります。
野菜だけで1,000円以上の負担増は厳しいですよね…。

出典：家計調査

続いて、この時期が旬の野菜と価格が高騰していた葉物野菜に絞り、過去5年間の購入額を比較してみました(それぞれ10月時点)



「にんじん」は概ね年々購入額が増加していますが、その他の野菜は今年は販売価格が高いがゆえに購入を控える傾向にあるようです。



野菜は、天候によって作柄が変動しやすく保存性も乏しいため、供給量の変動に伴い価格が大幅に変動します。また、品目転換が比較的容易であることから、価格変動に応じて作付面積も変動しやすく、これに伴って供給量も変動し、さらに価格が変動するといった特性があります。

今年の天候不順の影響により家計に大打撃を受けたことは事実ですが、生産者の方々のたゆまぬ努力のおかげで、私たち消費者は今日もおいしい野菜を食べることができています。そういう意味では、感謝の気持ちを持ちながら今日は家族のためにお鍋にしてみたいはいかがでしょうか。



最後にご紹介します。

11月22日(火)に県と県統計協会の共催で統計功労者表彰式が行われました。この表彰式は、統計功労者の方々や統計グラフコンクール入賞者の方々を表彰し、統計従事者の士気高揚を図り、また統計に対する関心と理解を深めるために毎年開催しているものです。今年度もくまモンがお祝いに駆けつけてくれたので、賑やかな式となりました。



受賞された皆様、おめでとうございます。

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、12月27日(火曜日)に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp